

秋季県高校野球 きょう準決勝

東北大会へ4強激突

秋季東北地区高校野球県大会は第7日の30日、八戸市長根公園野球場で準決勝2試合を行う。第1試合（午前10時開始）は八戸学院光星と弘前南、第2試合（午後0時半開始）は青森山田と弘前学院聖愛がそれぞれ激突。今大会の上位3校は、来春の選抜高校野球大会（センバツ）選出の参考となる東北大会に出場する。4強の戦いぶりを振り返る。

▽八学光星―弘前南

八学光星はチーム打率が4割2分6厘と、新チームも「打の光星」が健在。上位から下位まで切れ目がなく、3試合をワールドで勝ち上がった。投手陣は5投手が登板。わずか1失点と投打でレベルが高い。

弘前南は主戦川越が切れのある直球と変化球を武器に、35回を投げ4失点と力投。県立高で唯一の4強入りを果たした。光星の強力打線を粘りの投球で抑え、ロースコアの接戦に持ち込み勝機を探りたい。

光 星 投打で高レベル × 弘 南 ロースコア狙う